

教科 科目	国語 論理国語	学年	5年	単位	2単位	担当	野見山 和也
----------	------------	----	----	----	-----	----	--------

#### 【科目の概要】

現代の国語で身につけた学力を基に、近代以降の文章を読解するための応用力を身に付け、ものの見方や考え方を深く養っていくことを目的とします。国語としての日本語を大切にし、語彙力を高めるとともに、自然や人間、現代社会が抱える様々な問題と自分自身との関わり方について考えます。

【育成をめざす学力】言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
- (2) 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようとする。
- (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

#### 【評価の観点】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けていく。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができている。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度が身についている。

#### 【年間指導単元・内容と学習活動】

4月	「自他の『間あい』」
5月	「『私』中心の日本語」
6月	「日本人の『自然』」「手の変幻」
7月	「越境する動物がもたらす贈り物」
8月	「推論とは何か」「帰納法のワナー 一般化に対する疑問」
9月	「働くないアリに意義がある」
10月	「A I 時代の社会と法」
11月	「なぜ多様性が必要か」
12月	「生態認証技術の発展と未来」
1月	「コミュニティ空間としての都市」
2月	「『第二の身体』としてのメディアと技術」
3月	「対話の意味」「身体的表現の関係性」

教科 科目	国語 古典探求（古文）	学年	5年	単位	1単位	担当	畠中 典子
----------	----------------	----	----	----	-----	----	-------

【科目の概要】

「古文」は「言語文化」での古文の基礎を発展させる科目です。古語単語・文法事項・古典常識などに関する基礎知識力をつけることで、古文特有の文体や修辞などの表現上の特徴を理解できるようにします。先人の生活様式や、美意識、価値観を学び、日本の伝統文化に対する理解を深めます。

【育成をめざす学力】言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようとする。
- (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようとする。
- (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

【評価の観点】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、古典に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めようとしている。

【年間指導単元・内容と学習活動】

4月	説話 古今著聞集「小式部内侍が大江山の歌の事」
5月	随筆 沙石集「歌ゆゑに命を失ふ事」 随筆 徒然草「世に語り伝ふること」
6月	歌物語 伊勢物語「初冠」 物語 大和物語「姥捨」
7月	日記 蜻蛉日記「うつろひたる菊」
8月	日記 蜻蛉日記「「泔坏の水」」
9月	日記 和泉式部日記「夢よりもはかなき世の中」 随筆 枕草子「すさまじきもの」
10月	物語 源氏物語「若宮誕生」
11月	物語 源氏物語「若紫」
12月	日記 更級日記「門出」
1月	日記 更級日記「源氏の五十余巻」
2月	大鏡「弓争ひ」 軍記物語 平家物語「能登殿の最期」
3月	和歌・俳諧 「古今和歌集 仮名序」

教科 科目	国語 古典探求（漢文）	学年	5年	単位	1単位	担当	畠中 典子
----------	----------------	----	----	----	-----	----	-------

【科目の概要】

語句・句法などを理解したうえで、漢文の訓読のきまりに従って音読し、現代語訳や解釈・鑑賞ができるようにします。また漢文作品をとおして、漢文の文章の特徴を知り、人間の生き方・中国の歴史・思想などについて、自分の考え方を深めていきます。先人たちの価値観や考え方を学び、文化を継承していく姿勢を身に付けていきます。

【育成をめざす学力】

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語での的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようとする。
- (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようとする。
- (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

【評価の観点】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、古典に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めようとしている。

【年間指導単元・内容と学習活動】

4月	故事・逸話「推敲」
5月	故事・逸話「吳越同舟」「嬰逆鱗」「知音」
6月	史話・史伝「鼓腹擊壤」　名家の文章「雜説」
7月	名家の文章「黔之驢」
8月	史話・史伝「鴻門之会」
9月	史話・史伝「鴻門之会」
10月	史話・史伝「四面楚歌」
11月	史話・史伝「四面楚歌」
12月	寓話「壳鬼」　＊語彙、漢文句法の復習
1月	寓話「蟻王」「酒虫」
2月	思想　孟子「何必曰利」「性善」　老子「小国寡民」
3月	思想　莊子「渾沌」「曳尾於塗中」　韓非子「非愛也」　＊語彙、漢文句法の復習



教科科目	世界史探究	学年	5年文系 (選択者)	単位	3単位	担当	下川 徹也
------	-------	----	---------------	----	-----	----	-------

## 【育成をめざす学力】

- (知識) 世界史事象を地理的条件や日本との関連付けながら理解し、まとめる力。  
(技能) 世界史事象に関する図版・文献・統計資料を効果的に活用して復元する力。  
(思考・判断) 世界史事象を大きな歴史の流れの中で意味づけ、成果と課題を評価する力。  
(表現) 現代社会に生きる一員として何をなすべきかを考えていく問題解決力や判断力・洞察力。

## 【評価基準・評価項目】

- ・学習した基本用語を正確に暗記し、表記できる（社A①）
  - ・基本用語同士の関係を図式化して歴史事象を理解し、整理できる（社A②）
  - ・歴史事象を大きな歴史に意味づけ、他事象と比較して地域的・時代的特殊性・普遍性を判断できる（社B①②）
  - ・各地域・時代の「人間・社会認識」や現代的課題との関連から、歴史事象について評価できる（社B③）
  - ・歴史事象の課題を発見し、解決策を考え、その結論を提示できる。（社C①～⑤）
  - ・歴史事象に関する図版、地図、グラフ、文章等の資料から、歴史事象を理解できる（社A④）
  - ・歴史事象の成果と課題を図版、地図、グラフ、文章等の資料を活用して表現できる（社B④）、（C①～⑤）
  - ・歴史事象の成果と課題について、他者と建設的な議論ができる（社A⑤）、（B⑤）、（C⑥）
  - ・歴史事象の学習を通じて、歴史学習の意義を理解し、興味・関心を喚起できる（社C⑦）

## 【年間指導単元・内容と学習活動】

4月	<b>1 諸地域の特質の形成</b> (1)古代オリエント文明 (2)古代インド文明 (3)古代中国文明
5月	(4)中央アジア (5)東アジア文化圏 (6)仏教とインド古典文化 (7)西アジアの帝国 (8)古代ギリシア
6月	(9)ローマの地中海統一 (10)キリスト教世界の成立と発展 <b>2 諸地域の交流と再編</b> (1)イスラム政権 (2) イスラム世界の拡大と接触 (3) 西ヨーロッパ封建社会の成立
7月	(4)東ヨーロッパ世界 (5)ヨーロッパ封建社会の動搖 (6)東アジアの再編
8月	(7)モンゴル帝国の世界支配 (8)明清帝国の動向 (9)オスマン朝とサファヴィイ朝 (10)ムガル朝
9月	(11)ルネサンスと宗教改革 (12)大航海時代 (13)ヨーロッパ主権国家の成立と発展
10月	(14)科学革命と啓蒙思想 <b>3 諸地域の結合と変容</b> (1)産業革命 (2)アメリカ独立革命 (3)フランス革命とナポレオン
11月	(4)ウィーン体制 (5)19世紀のイギリス・フランス (6)19世紀ヨーロッパの再編 (7)アメリカの発展
12月	(8)19世紀欧米文化 (9)西アジアの変容 (10)南アジア・東南アジアの植民地化 (11)東アジアの動搖
1月	(12)帝国主義の成立と世界分割 (13)アジア諸国の変革と民族運動 (13)第一次世界大戦とロシア革命 (14)ヴェルサイユ体制下の欧米 (15)アジア・アフリカの自立 (16)世界恐慌
2月	(17)第二次世界大戦 (18)大戦の終結と国際連合 <b>4 地球世界の課題</b> (1)冷戦の展開 (2)非同盟主義 (3)国際政治の多様化 (4)産業構造と経済体制の変容
3月	(5)冷戦の終結 (6)冷戦後の世界 (7)現代の世界 (8)現代文化

教科科目	日本史探究	学年	5年文系 (選択者)	単位	3 単位	担当	古賀 倫子
【科目の概要】国際化の進んだ今日では、世界各地で人々と接する機会が増え、自分とは異なる文化を理解する努力が求められています。異文化を理解し、異文化との共生をめざすためには正しい歴史認識をもつことが大切です。そこで、5学年では、中学で学んだ歴史を基礎に、自国の歴史認識を深めるため、日本列島誕生から近世までの日本が歩んできた歴史を、古代中国・朝鮮半島や中世以降のヨーロッパとの関係を把握しながら、日本の文化と伝統の特色を理解し、「歴史的なできごと」に対しての多角的な考察をふまえて、歴史に対する考えを深めていきます。							
【育成をめざす学力】							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の文化と伝統と現代日本の課題を理解するための日本史の基本的事項を習得する力。</li> <li>・史料および資料の意味、さらに将来の予測を読み取る力</li> <li>・歴史の時系列の理解、歴史の過程に見られる「原因・結果・影響」を整理する力</li> <li>・歴史的な見方や考え方から現代への問題を考えることができる力</li> <li>・学習活動を通じ、日本史の学習の意義を理解し、学習への興味・関心を喚起する力</li> <li>・学習活動を通じ、自己の学習状況や学習姿勢を検証し、改善する力</li> </ul>							
【評価基準・評価項目】							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習した基本用語を正確に暗記し、表記できる（社A①）</li> <li>・基本用語同士の関係を図式化して歴史事象を理解し、整理できる（社A②）</li> <li>・歴史事象を大きな歴史に意味づけ、他事象と比較して地域的・時代的特殊性・普遍性を判断できる（社B①②）</li> <li>・各地域・時代の「人間・社会認識」や現代的課題との関連から、歴史事象について評価できる（社B③）</li> <li>・歴史事象の課題を発見し、解決策を考え、その結論を提示できる。（社C①～⑤）</li> <li>・歴史事象に関する図版、地図、グラフ、文章等の資料から、歴史事象を理解できる（社A④）</li> <li>・歴史事象の成果と課題を図版、地図、グラフ、文章等の資料を活用して表現できる（社B④、C①～⑤）</li> <li>・歴史事象の成果と課題について、他者と建設的な議論ができる（社A⑤、B⑤、C⑥）</li> <li>・歴史事象の学習を通じて、歴史学習の意義を理解し、興味・関心を喚起できる（社C⑦）</li> </ul>							
【年間指導単元・内容と学習活動】							
4月 5月	第1章 日本文化のあけぼの 第2章 古墳とヤマト政権	1. 文化のはじまり 1. 古墳文化の展開	2. 農耕社会の成立 2. 飛鳥の朝廷				
6月 7月	第3章 律令国家の形成	1. 律令国家への道 3. 律令国家の文化	2. 平城京の時代 4. 律令国家の変容				
8月 9月	第4章 貴族政治の展開 第5章 院政と武士の躍進	1. 摂関政治 1. 院政の始まり	2. 国風文化 2. 院政と平氏政権	3. 地方政治の展開と武士			
10月	第6章 武家政権の成立	1. 鎌倉幕府の成立 4. 鎌倉文化	2. 武士の社会 4. 幕府の衰退	3. モンゴル襲来と幕府の衰退			
11月	第7章 武家社会の成長	1. 室町幕府の成立 4. 戦国大名の登場	2. 幕府の衰退と庶民の台頭 第8章 1. 織豊政権	3. 室町文化 2. 桃山文化			
12月	第9章 幕藩体制の成立と展開	1. 幕藩体制の成立	2. 幕藩社会の構造				
1月	3. 幕政の安定	4. 経済の発展	5. 元禄文化				
2月	第10章 幕藩体制の動搖	1. 幕政の改革 3. 幕府の衰退と近代への道	2. 宝暦・天明期の文化 4. 化政文化				
3月	第11章 近世から近代へ 第12章 近代国家の成立	1. 開国と幕末の動乱 1. 明治維新と富国強兵	2. 幕府の滅亡と新政府の発足 2. 立憲国家の成立				





教科科目	数学・数学II	学年	5年理系	単位	4単位+1	担当	脇田 祥弥
【科目の概要】数学II・数学IIIは高等数学の最も基礎となる重要な科目である。内容は、「整式」「代数方程式の解の理論」「代数と幾何学」という代数学の基礎、「初等関数(指数・対数関数)」「微分積分」という解析学の基礎を担う科目であり、理系としては特に「知識」「思考方法」の何れも高度な学力を身につけなければならない。							
【育成をめざす学力】数学が高度に抽象化されていくプロセスを体験しながら、数学的読解力・思考力を育てる。進路に向けては、国立大2次試験に十分対応できる基礎学力と応用力を養う。							
①	基本的な概念、原理・法則、用語・記号などを理解し、基礎的な知識を習得し活用できる力 (A)						
②	色々な事象を数学的に考察して的確に情報を取り出す力 (C)、取り出した情報を表現できる力 (C)、熟考して処理する仕方や推論の方法を身に付け的確に問題を解決できる力 (B D E)・表現できる力 (F)						
③	数学的な見方や考え方を身に付け、事象を数学的にとらえ論理的に考える力 (D)						
④	数学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを事象の考察に活用する力 (G)						
【評価基準・評価項目】(下記の事柄を理解し活用することが出来るか)							
<b>式と証明</b> ①展開と因数分解(二項定理) ②証明とは何か ③証明方法 ④不等式の性質 ⑤不等式と最大・最小問題の関わり ⑥(相加平均) $\geq$ (相乗平均) の関係 ⑦コーシー・シュワルツの不等式 <b>複素数と方程式</b> ①複素数とその計算 ②2次方程式の解 ③解と係数の関係 ④「多項式空間」と「数の空間」の違い ⑤剰余定理・因数定理 ⑥組み立て除法 ⑦次数降下法 ⑧代数学の基本定理 ⑨n乗根(円周等分多項式) <b>図形と方程式</b> ①「座標平面」と「代数方程式」の関係 ②「点」「直線」「円」「点と線の関係」「2直線の関係」「円と直線の関係」「2円の関係」「共有点を通る直線・円」③「軌跡」の考え方 ④「領域」 ⑤線形計画法 <b>三角関数</b> ①角の拡張(一般角、弧度法) ②三角比の拡張(定義) ③三角関数の意味 ④三角関数の性質(相互関係・周期) ⑤三角関数のグラフ(グラフの平行移動・拡大縮小の完全把握) ⑦三角関数の性質(周期・対称性) ⑧三角方程式・不等式 ⑨正弦・余弦・正接の加法定理 ⑩2倍角・半角の定理 ⑪三角関数の合成 ⑫和積変換・積和変換 ※2直線のなす角・扇形の面積などへの応用も特化する <b>指數関数と対数関数</b> ①指數と対数の関係 ②指數の自然数から実数への拡張 ③指數関数の定義と性質 ④指數方程式・不等式 ⑤逆関数 ⑥指數関数の逆関数としての対数関数 ⑦対数関数の性質 ⑧対数法則 ⑨対数方程式・不等式 ⑩常用対数とその活用 <b>微分法と積分法Ⅱ</b> ①「微分」の基本的な考え方(ライプニッツ&ニュートン) ②「平均変化率」の定義→「極限」概念の導入→「変化率」「微分係数」(接線の傾き)の定義→「導関数」の定義 ③「微分」の定義 ④「微分」の線形性 ⑤形式微分 ⑥「接線」 ⑦導関数と増減表とグラフ ⑧関数の最大・最小問題 ⑨方程式と不等式の「微分」による解析 ⑩「原始関数」「不定積分」 ⑪積分と面積 ⑫「微積分の基本定理」 ⑬回転体の体積 <b>微分法Ⅲ</b> ①極限 ②関数の極限・不定形 ③導関数の再定義(無限小量) ④微分の基本的性質 ⑤合成関数の微分 ⑥ネイピア数の定義 ⑦指數関数・対数関数・三角関数の微分 ⑧符号表から増減表へ							
【年間指導単元・内容と学習活動】							
4月	数II 第1章 式と計算						
5月	数II 第2章 複素数と方程式						
6月	数II 第4章 三角関数						
7月							
8月	数II 第3章 図形と方程式						
9月	数II 第5章 指數関数と対数関数 第2節 対数関数						
10月							
11月	数II 第6章 微分法と積分法 第1節 微分係数と導関数 第2節 関数の値の変化						
12月	数II 第6章 微分法と積分法 第3節 積分法						
1月	数III 第4章 第2節 関数の極限						
2月	数III 第5章 微分法						
3月							

教 科 科 目	数学・数学B	学 年	5年文系 (特進・進学コース)	単 位	2 単位	担 当	宮原 望
------------	--------	-----	--------------------	-----	------	-----	------

【科目の概要】数学Bでは「数列」と「統計的な推測」を扱う。「数列」では簡単な数列とその和及び漸化式と数学的帰納法について理解しそれらを用いて数学的に考察し処理できるようとする。「統計的な推測」では母集団と標本、標本平均の分布と正規分布の関係などを理解し、具体例を通して統計的な推測の考え方を身に付け、それを用いて標本のもつ傾向から母集団のもつ傾向を推測できるようにする。

【育成をめざす学力】数学が高度に抽象化されていくプロセスを体験しながら、数学的読解力・思考力を育てる。進路に向けては、国立大2次試験に十分対応できる基礎学力と応用力を養う。

- ①基本的な概念、原理・法則、用語・記号などを理解し、基礎的な知識を習得し活用できる力 (A)
- ②色々な事象を数学的に考察して的確に情報を取り出す力 (C)、取り出した情報を表現できる力 (C)、熟考して処理する仕方や推論の方法を身に付け的確に問題を解決できる力 (B D E)・表現できる力 (F)
- ③数学的な見方や考え方を身に付け、事象を数学的にとらえ論理的に考える力 (D)
- ④数学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを事象の考察に活用する力 (G)

【評価基準・評価項目】(下記の事柄を理解し活用することが出来るか)

**数列 II** ①「数列」の理解と表現方法 ②等差数列（一般項・漸化式・和）③等比数列（一般項・漸化式・和）④自然数の平方和・立方和 ⑤ $\Sigma$ 記号 ⑥ホイヘンスの分解 ⑦群数列 ⑧階差数列 ⑨ $S_n \rightarrow a_n$  ⑩漸化式 ⑪数学的帰納法 **統計的な推測** ①確率変数と確率分布 ②確率変数の期待値と分散 ③確率変数の和と積 ④二項分布 ⑤正規分布 ⑥母集団と標本 ⑦標本平均の分布 ⑧推定 ⑨仮説検定

【年間指導単元・内容と学習活動】

4・5月	数学C 第1章 平面上のベクトル 第1節 ベクトルとその演算
6月	第2節 ベクトルと平面図形
7・8・9月	数学B 第1章 数列 第1節 等差数列と等比数列 第2節 いろいろな数列 (和の記号 $\Sigma$ )
10・11月	第2節 いろいろな数列 (階差数列、いろいろな数列の和)
12・1・2月	第3節 漸化式と数学的帰納法 数学C 第2章 空間のベクトル (空間の点、空間のベクトル、ベクトルの成分、ベクトルの内積)
3月	数学C 第2章 空間のベクトル (ベクトルの図形への応用、座標空間における図形)



教 科 科 目	物理基礎	学 年	5 年	单 位	2 单位	担 当	井上 雄二 榎本 紗英
------------	------	-----	-----	-----	------	-----	----------------

## 【科目の概要】

自然の事物や現象についての理解を深め、人間生活とのかかわりを考えることを主眼において、物理学的に探究する能力と態度を育て、同時に基本的な概念や原理・法則を理解する。身のまわりの物理的な現象を簡略化した図式（モデル化）にすることができる能力を身につける。そして、そのモデルから簡単な数式（文字式）で現象を書きあらわし、説明できるようにする。

## 【育成をめざす学力】

- (1) 身近な現象から先端技術にいたるまで興味や関心をもって、科学的に物事をとらえようとする力
  - (2) 自然の事物や現象の知識を身につけ、自然のしくみや法則等を理解することのできる力
  - (3) 知識と与えられた条件から予想する力
  - (4) 現象のモデル化、グラフ化を行い、文字式を用いて数的処理をし、科学的に考えることができる力
  - (5) 資料（文章・グラフ・表など）を正確に読み解き、分析したり考察したりする力
  - (6) 物理的な探求を行うために必要とされる実験技術

### 【評価基準・評価項目】

**知識・技能**…日常生活や社会との関連を図りながら、物体の運動と様々なエネルギーについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。(評価材料：定期考查、小テスト)

**思考・判断・表現**…物体の運動と様々なエネルギーから問題を見いだし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。（評価材料：定期考查、小テスト、実験・観察レポート、調べ学習や研究作品、プレゼンテーション）

**主体的に取り組む態度**…物体の運動と様々なエネルギーに主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。(評価材料：授業中の取り組みや態度、振り返りシート、レポート、授業ノート、調べ学習や研究作品)

## 【年間指導単元・内容と学習活動】

4月	<b>第1編 物体の運動</b> 1章 運動の表し方：等速直線運動、(ベクトルの導入)、速度と変位、速度の合成、相対速度、
5月	加速度、等加速度直線運動、自由落下運動、
6月	鉛直投げ上げ運動、鉛直投げ上げ運動
7月	2章 力：力の合成・分解、力のつり合い、作用反作用
8月	摩擦力、圧力と浮力
9月	3章 運動の法則：慣性の法則、運動の法則、運動方程式、いろいろな力を受けける運動
10月	<b>第2編 エネルギー</b> 1章 運動とエネルギー：仕事、仕事の原理と仕事率
11月	運動とエネルギー：運動エネルギー、位置エネルギー、力学的エネルギーの保存の法則
12月	2章 熱とエネルギー：熱と温度、熱容量と比熱、物質の三態
1月	熱とエネルギー：熱と仕事、熱と仕事の変換
2月	<b>第3編 波</b> 1章 波の性質：波と媒質の運動、重ね合わせの原理
3月	2章 音：音の性質

教科 科目	物理	学年	5年理選	単位	2.5単位	担当	井上 雄二
----------	----	----	------	----	-------	----	-------

### 【科目の概要】

自然の事物や現象についての理解を深め、人間生活とのかかわりを考えることを主眼において、物理学的に探究する能力と態度を育て、同時に基本的な概念や原理・法則を理解する。物理では、身のまわりの物理的な現象を簡略化した図式（モデル）化し、そのモデルから簡単な数式（文字式）で書きあらわすことで、実際に物理現象を数式によって説明できるようにする。

### 【育成をめざす学力】

- (1) 身近な現象から先端技術にいたるまで興味や関心をもって、科学的に物事をとらえようとする力
- (2) 自然の事物や現象の知識を身につけ、自然のしくみや法則等を理解することのできる力
- (3) 実験における技能を習得し、その結果を科学的な考察を交え、文章や図・グラフ等を用いて正しく表現する力
- (4) 知識と与えられた条件から予想する力
- (5) 現象のモデル化、グラフ化を行い、文字式を用いて数的処理をし、科学的に考えることができる力
- (6) 資料（文章・グラフ・表など）を正確に読み解し、分析したり考察したりする力

### 【評価基準・評価項目】

**知識・技能**…物理学の基本的な概念や原理・法則を理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する操作や記録などの技能を身に付けている。（評価材料：定期考査、小テスト）

**思考・判断・表現**…物理的な事物・現象から問題を見いだし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。（評価材料：定期考査、小テスト、実験・観察レポート、調べ学習や研究作品、プレゼンテーション）

**主体的に取り組む態度**…物理的な事物・現象に主体的に関わり、見通しをもつたり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。（評価材料：授業中の取り組みや態度、振り返りシート、レポート、授業ノート、調べ学習や研究作品）

### 【年間指導単元・内容と学習活動】

4月	3-1 波の性質（波と媒質の運動、波の伝わり方）
5月	III - ① 波の伝わり方
6月	3-2 音（音の性質、発音体の振動と共振・共鳴）
7月	III - ② 音の伝わり方（音の伝わり方・音のドップラー効果）
8月	III - ③ 光（光の性質、レンズ、光の干渉と回折）
9月	III - ① 波の伝わり方（正弦波、波の伝わり方）
10月	4-1 電気、IV - ② 電流（電気の性質、電流と電気抵抗、電気とエネルギー、直流回路）
11月	I - ① 平面内の運動（速度、加速度、落体の運動）
12月	I - ② 剛体（力のつりあいと重心）
1月	I - ③ 運動量の保存（運動量と力積、運動量保存則、反発係数）
2月	I - ④ 円運動と万有引力（等速円運動、慣性力、単振動、万有引力）
3月	II - ① 気体のエネルギーと状態変化（気体の法則、気体分子の運動、気体の状態変化）

教科 科目	化学	学年	5年理	単位	2.5 単位	担当	山内 かな子
----------	----	----	-----	----	--------	----	--------

【科目の概要】

化学では、理論化学・無機物質・有機化合物を学びます。理論化学で、基本的な概念や原理・法則への理解を深めることで、無機物質や有機化合物を化学的な視点でとらえることができます。これらの学びを通して、日常生活における化学について興味や疑問をもち、思考する習慣をつけましょう。さらに、化学と社会との関わりや、化学の役割について考えていきましょう。

【育成をめざす学力】

- (1) 化学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的に考える力
- (2) 文章・図・グラフを読み取る力
- (3) 自身の考えや思考プロセスを適切な方法で表現する力
- (4) 興味関心をもって学び、自らを振り返り学力向上に努める姿勢
- (5) 他者を尊重し、共同学習する姿勢
- (6) 安全に配慮し、実験・観察を行う姿勢

【評価基準・評価項目】

**知識・技能**…化学の基本的な概念や原理・法則を理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する操作や記録などの技能を身に付けています。(評価材料：定期考查、小テスト、実技テスト)

**思考・判断・表現**…化学的な事物・現象から問題を見いだし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。(評価材料：定期考查、小テスト、実験・観察レポート、調べ学習や研究作品、プレゼンテーション)

**主体的に取り組む態度**…化学的な事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。(評価材料：授業中の取り組みや態度、振り返りシート、レポート、理科ノート、調べ学習や研究作品、小テスト、プレゼンテーション)

【年間指導単元・内容と学習活動】

4月	序章 科学と物質 1章 物質の状態と平衡 1節 状態変化
5月	2節 固体の構造
6月	3節 気体の性質
7月	4節 溶液
8月	2章 物質の変化と平衡 1節 化学反応と熱・光エネルギー
9月	酸化還元反応 2節 化学反応と電気エネルギー
10月	2節 化学反応と電気エネルギー
11月	3節 反応の速さとしくみ
12月	4節 化学平衡
1月	4節 化学平衡
2月	3章 無機物質 1節 元素と周期表
3月	2節 非金属元素

教科 科目	理科演習	学年	5年文選	単位	2単位	担当	岩永 和美
----------	------	----	------	----	-----	----	-------

【科目の概要】

5年の理科演習では、化学基礎・生物基礎の内容の演習をおこない、大学入試に備えてさらに理解を深めていくことを目指します。

【育成をめざす学力】

- (1) 興味や関心をもって身近な現象や先端技術をとらえようとする力。知識と与えられた条件から予想する力。
- (2) 自然の事物や現象の知識を身につけ、自然のしくみや法則等を理解することのできる力。
- (3) 学習の方法やその工夫を考え基本事項を正確に理解し、定着させる力。
- (4) 資料（文章・グラフ・表など）を正確に読解する力分析したり考察したりする力。
- (5) 根気強く、速く、正確に計算する力。単位の意味を理解し、正しく活用することができる力。
- (6) 複数の单元で学習した内容を組み合わせて活用する力

【評価基準・評価項目】

**知識・技能**…物質とその変化、生物や生物現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。(評価材料：定期考査、小テスト、実技テスト)

**思考・判断・表現**…物質とその変化、生物や生物現象から問題を見いだし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。(評価材料：定期考査、小テスト、実験・観察レポート、プレゼンテーション、調べ学習や研究作品)

**主体的に取り組む態度**…物質とその変化、生物や生物現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。(評価材料：授業中の取り組みや態度、振り返りシート、レポート、授業ノート、調べ学習や研究作品、小テスト)

【年間指導単元・内容と学習活動】

	化学基礎	生物基礎
4月	3章 物質の変化 酸化還元反応	新編アクセス生物基礎 1-1. 生物の多様性と共通性
5月	酸化還元反応	1-2. 生物と細胞 1-3. 生物とエネルギー
6月	ベストフィット 1-1 物質の探求	2-1. 遺伝情報とDNA 2-2. DNAの複製と分配
7月	1-2 物質の構成	2-3. 遺伝情報とタンパク質の合成
8月	2-1 イオン結合	3-1. 生物の体内環境
9月	2-2 共有結合	3-2. 体内環境の維持のしくみ
10月	2-3 金属結合	(模擬試験演習) 3-3. 免疫
11月	3-1 物質量と化学反応式	4-1. 植生の構造
12月	3-1 物質量と化学反応式	4-2. 植生の移り変わり
1月	3-2 酸と塩基の反応式	(模擬試験演習) 4-3. 植生の分布と環境
2月	3-3 酸化還元反応	(模擬試験演習) 4-4. 生態系と生物の多様性
3月	3-3 酸化還元反応	4-5. 生物多様性の保全

教 科 科 目	音楽Ⅱ	学 年	5年	単 位	2 单位	担 当	佐野 智江
------------	-----	-----	----	-----	------	-----	-------

【科目の概要】

5年次より音楽は選択教科となり、授業は週1回2時間連続の形態をとります。本科目では、授業内容に歌唱、合奏、創作といった表現活動を多く取り入れています。このような活動を通し、積極的、意欲的に音楽を表現する楽しさを体験します。またその中に個性豊かな音楽表現が出来る機会を多く作っていきます。

【育成をめざす学力】

- ・積極的、意欲的に音楽活動に携わる能力。
- ・個性豊かに音楽表現が出来る能力。

【評価基準・評価項目】

○知識・技能：創意工夫を生かした歌唱、器楽、創作表現をするための知識や技能。音楽構造の理解。（確認テスト、実技テスト）

○思考・判断・表現：音楽作品の特徴を感じ取る思考力。歌唱、器楽、創作表現の工夫。（実技テスト、創作活動）

○主体的に取り組む態度：各活動に対する意欲。（授業中の取り組みや態度）

【年間指導単元・内容と学習活動】

4月	表現の楽しさを味わう	音楽基礎知識の復習		
5月	世界の歌に親しむ	創作活動		
6月	ミュージカルについて	ドイツ歌曲に親しむ	確認テスト	実技テスト
7・8月	合唱・合奏活動			
9月	イタリア歌曲に親しむ	楽曲の種類について		
10月	ピアノの歴史	ピアノ協奏曲の鑑賞	オペラについて	
11・12月	音階について	合奏活動	確認テスト	実技テスト
	クリスマス礼拝に向けて（ハレルヤコーラス）			
1月	音楽用語のまとめ	合唱・合奏活動		
2月	音楽理論	確認テスト	実技テスト	創作活動
3月	1年間のまとめ			

教科 科目	書道 I	学年	5年	単位	2 単位	担当	中島 啓子
----------	------	----	----	----	------	----	-------

【科目の概要】

書に関する見方や考え方を身につけ、書の伝統や文化、生活や社会の中での文字や書についての学びを広げます。書道 I では楷書、行書、草書、隸書、篆書、仮名、篆刻、漢字仮名交じりの書を学習します。単元ごとに臨書や創作、作品鑑賞を行います。

積極的に取り組み個性的な作品を制作する中で「自ら学び、自ら考える力」をつけます。

【育成をめざす学力】

書の表現の方法や形式、多様性などについて理解し書写能力を高める。

表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。

自らの意図に基づいて構想し、書表現の工夫、効果的な技能を身につける。

他者に対して常に思いやりの心を持ち、よりよい人間関係を築く姿勢を身につけ、道徳的判断力や実践力を養う。

【評価基準・評価項目】

- ・書道史をふまえ、単元ごとの基礎的な用筆法を身につけ創意工夫しながら表現できている。(知識・技能)
- ・書体の変遷について理解し、書の理論を身につけることができている。(思考・判断・表現)
- ・プリントやノートに学習の工夫があり自主的かつ積極的に学習活動を行っている。(主体的に取り組む態度)
- ・言葉遣いや行動が他者への配慮をもって行われ、協調性をもって機敏に行われている。(主体的に取り組む態度)

【年間指導単元・内容と学習活動】

4月	書へのいざない				
5月	漢字の書 楷書 孔子廟堂碑 大道 九成宮禮泉銘 清泉 書体と書風 唐の四大家				
6月	牛齕造像記 令和 時代による書風の違い				
7月	篆刻 雅印 漢字用印				
8月	仮名用印 落款の入れ方				
9月	行書 風信帖 恵風 日本の行書 三筆と三跡				
10月	集王聖教序 大地 蘭亭序 天朗氣清 中国の行書 王羲之とその書風				
11月	仮名の書 いろは 単体と連綿 蓬萊切おほぞらに 墨継ぎの技法				
12月	高野切第三種 しらゆきの 短冊の書式				
1月	隸書 曹全碑 有志 隸書、篆書の特徴 藏峰 篆書 泰山刻石 皇帝				
2月	草書 書譜 仁慈 漢字仮名交じりの書 古典を生かした表現 自選語句 漢字と仮名の調和 文字群、余白				
3月	自由創作 年間で学んだ用筆による創作				

教 科 科 目	保健体育 保 健	学 年	5 年	単 位	1 单位	担 当	浦 元 久美子
------------	-------------	-----	-----	-----	------	-----	---------

【科目の概要】

心の健康、食生活をはじめとする生活習慣の乱れ、生活習慣病、薬物乱用、性に関する問題など現代社会における健康・安全の問題は深刻かつ多様化しており、心身の健康の保持増進が大きな課題となってきた。『現代社会と健康』の項目では、現代社会における健康やその対策の考え方変化してきていること、生活習慣や喫煙、飲酒・薬物乱用などの問題に対応する必要があること、自己実現を図る努力が必要であること、交通事故を防止するためには適切な行動や交通環境などが重要であること、及び傷害や疾病に際して応急手当を適切に行うことが重要であることなどが内容である。

【育成をめざす学力】

「健康で活力ある生活を送る態度や能力身につける」現在及び、将来の生活において健康安全の課題に直面したときに、的確な思考・判断に基づいて適切な意思決定を行い、自らの健康の管理や健康的な生活行動の選択及び、健康的な社会環境づくりが実践できるような資質や能力を育成する。

【評価基準・評価項目】

- ・ 社会生活における健康・安全について理解できる。
- ・ 生涯を通じて自らの健康を、管理・改善できる。

【年間指導単元・内容と学習活動】

4・5月	オリエンテーション
6月	1 私たちの健康のすがた 2 健康のとらえ方 3 生活習慣病の予防と回復
7月	4 喫煙と健康 6 飲酒と健康 7 薬物乱用と健康
8月	5 がんの原因と予防、がんの治療と回復
9月	6 感染症とその予防 10 エイズとその予防（エイズ教育）
10月	7 健康に関わる意思決定 8 意思決定・行動選択に必要なもの
11月	9 運動と健康、食事と健康、休養・睡眠と健康 10 精神疾患の特徴、予防、回復
12月	11 応急手当の意義とその基本 12 日常的な応急手当、心肺蘇生法
1月	13 交通事故の現状と要因 16 交通社会における運転者の資質と責任
2月	14 安全な交通社会づくり 15 応急手当の意義とその基本
3月	保健の総まとめ

教 科 科 目	保健体育 体 育	学 年	5年	単 位	2 单位	担 当	猪 寛子
------------	-------------	-----	----	-----	------	-----	------

【科目の概要】

各種の運動の合理的な実践を通して、課題を解決するなどにより運動の楽しさや喜びを味わうとともに、運動着のを高めることができるように、生活を明るく健全にする態度を育てる。

【育成をめざす学力】

各種の運動を適切に行うことによって、自己の体の変化に気づき、体の調子を整えるとともに、体力の向上を図り、たくましい心身を養う。

【評価基準・評価項目】

- ・ 集団で協力し、各自で考え方・行動・判断ができる。
- ・ 個人的能力と集団的能力を身につけることができる。

【年間指導単元・内容と学習活動】

4・5月	1. 体育に関するオリエンテーション 安全教育
6月	2. 集団行動 …体育で行う行動様式の習得
7月	3. バレーボール ①基本的なボール慣れ ②パス…オーバーハンド、アンダーハンド ③レシーブ ④実技テスト
8月	⑤ルール説明、ゲーム（班毎のリーグ戦）
9月	4. ゴルフ ①基本練習…グリップ、アドレス、スタンス、素振り
10月	②応用練習…ハーフショット、フルショット、寄せるショット、パター
11月	③評価・実技テスト（フルショット・寄せるショット）
12月	④ラウンド評価（何打でラウンドできたか）
1月	5. バスケットボール ①基本的なボール慣れ（スキルテスト） ②パス…チェスト、バウンズ、アンダー、ショルダー、 ③ドリブル ④ドリブルシュート、ランニングシュート ⑤ジャンプシュート
2月	⑥評価・実技テスト ・パス ・ドリブル ・ドリブルシュート、ランニングシュート
3月	⑦ルール説明・ゲーム（班毎のリーグ戦）

教科 科目	英語 論理表現Ⅱ コミュニケーション英語Ⅱ	学年	5年	単位	7単位	担当	松下範枝・宇高かれん 井上真理子 天野ムチャレジス
----------	-----------------------------	----	----	----	-----	----	---------------------------------

【教科・科目の概要】皆さんはこれまでに英語を勉強してきたと思いますが、まず、何のために英語を身につけるのか考えてみて下さい。英語は国際語として多くの国と地域で言語や文化が異なる人同士をつなぎます。より多くの人とつながるために、英語を聞き、話し、読み、書く総合的な力を育てましょう。さらに、英語は単にことばを身につけるためだけの科目ではありません。

5年生では、社会・人生、地理・文化、福祉・科学、環境・社会、動物・福祉、言語・文学、社会・人権、国際・平和、の8つのトピックについて知識を深め、批判的に考える力や考えたことを伝える力を伸ばしていきたいと考えます。計7単位のうち2単位(論表Ⅱ)は、文法を中心に多くの演習問題を解きながら英語の表現力もつけていきます。1.5単位(O.C.)はチームティーチングで授業を行います。3.5単位(コミュⅡ)は教科書を使いながら多量の英文を読んで理解し、それを要約したり、自分の意見を書いたり話したりすることを目指し、最終的にディベートに挑戦していくための力をつけていきます。

#### 【育成をめざす学力】

Reading	速くそして正確にパラグラフごとのテーマと論理展開を見抜く力 テキストを分析的・批判的に読む力
Listening	目的をもって展開を予測しながら聴き、内容を把握する力
Speaking/Writing	与えられた知識を活用して自ら考え、積極的に英語で表現する力

#### 【評価基準・評価項目】

- Speaking: 身近な問題についてディベートをすることができる。 学習した英文の内容の概要をまとめ、簡単な英語で発表することができる。
- Writing: 社会問題について、150語程度の英文で自分の考え方や意見を書くことができる。 プロセスライティングの過程を実行し、パラグラフで自己表現することができる。
- Reading: 共通テストレベルの英文をA Bクラスはwpm90、Cクラスはwpm120程度で読み理解できる。
- Listening: まとまった英文を、メモを取りながら聞き、大意を把握することができる。

#### 【年間指導単元・内容と学習活動】 ※特に記載がない月も、英検に関しては1・2学期は問題演習を実施予定

4・5月	コミュニケーション英語Ⅱ Lesson 1 / 文法・表現力演習 / 英検問題演習等
6月	コミュニケーション英語Ⅱ Lesson 2 / 文法・表現力演習 / Show&Tell・Writing 等
7月	コミュニケーション英語Ⅱ Lesson 3~4 / 文法・表現力演習 / Discussion 等
8月	コミュニケーション英語Ⅱ Lesson 4~5 / 文法・表現力演習 / ディベート
9月	コミュニケーション英語Ⅱ Lesson 5 / 文法・表現力演習 / ディベート
10月	コミュニケーション英語Ⅱ Lesson 6 / 文法・表現力演習 / ディベート
11月	コミュニケーション英語Ⅱ Lesson 7 / 文法・表現力演習 / ディベート
12月	コミュニケーション英語Ⅱ Lesson 8 / 文法・表現力演習 / ディベート
1月	コミュニケーション英語Ⅲ Lesson 1 / 文法・表現力演習 / ディベート
2月	コミュニケーション英語Ⅲ Lesson 2 / 文法・表現力演習 / ディベート・スピーキングテスト
3月	まとめ <ディベート コンテスト>

教科 科目	家庭基礎	学年	5年	単位	2単位	担当	内田 紗理香
----------	------	----	----	----	-----	----	--------

### 【科目の概要】

現在は男女が協力して家族の一員としての役割を果たし、家庭を築くことが重要になっています。人はどのような生き方をしようとも、日々の暮らしをなくすことはできません。家庭科は人間が生きていくために、自分の生活を自分でデザインする力をつける教科です。一人ひとりが生活の主人公になる力をつけることを目的とし、そのために必要な知識や技術、考え方などを学び、自らの力で生活できる能力を身につけ、自分の生活スタイルを自己決定するだけの基本的な構えをつくっていきます。

### 【育成をめざす学力】

- ・情報を収集し、活用する力
- ・課題に対してさまざまな角度から考える力
- ・自分の考えをまとめる力
- ・生活をよりよいものにしていこうとする意欲や創意工夫する力
- ・生活の自立と共生のために必要な力

### 【評価基準・評価項目】

- ・家族・子ども・高齢者・食生活についての基本的知識を習得できている。
- ・安全に配慮し、手順通りにグループのメンバーと協力して作業することができる。
- ・日頃の食生活を見直し、改善しようとすることができる。
- ・必要な情報収集・活用ができる。
- ・さまざまな視点から情報を分析し、自分の意見をまとめて発表することができる。
- ・学習内容に関するスクラップブックを作成することができる。

### 【年間指導単元・内容と学習活動】

4・5月	1. これから的人生について考えてみよう 2. 自分らしい生き方と家族 ①共に生きる家族 ②家族に関する法律
6・7月	3. 子どもとかかわる ①子どもとは ②子どもの発達 ③子どもの生活
8~10月	4. 高齢者とかかわる ①高齢社会に生きる ②高齢者を知る ③高齢者の自立を支える ④高齢社会を支えるしくみ
11月	5. 社会とかかわる 6. 食生活をつくる ①日本の食文化の形成 ②私たちの食生活
12月	③栄養と食品のかかわり
1月	④食生活テーマ学習
2月	⑤食事の計画と調理
3月	7.消費行動を考える

教 科 科 目	聖書	学 年	5 年	単 位	1 単位	担 当	佐藤 清一
------------	----	-----	-----	-----	------	-----	-------

**【科目の概要】**

現在の教会がその成立から経てきた筋道を知り、キリスト教が人類文化の発展に果たした役割を学び、歴史歷に働く神のみ業を読み取る。

**【育成をめざす学力】**

- A. 聖書と教会を理解するための知識を習得し、整理する力。
- B. 知識を活用（分類・分析）して聖書や教会を解釈する力。
- C. 知識を活用（分類・分析）して自分自身の将来像を展望する力。

**【評価基準・評価項目】**

- ・キリスト教の歴史的知識を理解し、身に着けている。
- ・日常生活において生じる様々な問題について、聖書に基づいて考え、判断したり、自分の意見を述べることができる。
- ・聖書の授業に興味・関心を持ち、課題等に対して主体的に取り組み、課題を解決しようとしている。
- ・キリスト教史から歴史歷に働く神のみ業を読み取ることができる。

**【年間指導単元・内容と学習活動】**

4月	キリスト教史を学ぶ意味 キリスト教成立の背景とイエスの時代
5月	ペトロとパウロの活躍 ローマ帝国による迫害と公認
6月	古カトリック教会の教えの確立
7月	キリスト教のゲルマン人への浸透とローマ教皇権の伸張
8月	東方教会の発展
9月	
10月	教皇と皇帝の対立と十字軍
11月	ヨーロッパ中世の文化
12月	教皇権の動搖と異端の動き
1月	ドイツの宗教改革(1)
2月	ドイツの宗教改革(2)
3月	スイスの宗教改革

教科 科目	インテグレーション5	学年	5年	単位	1単位	担当	5学年教師
----------	------------	----	----	----	-----	----	-------

### 【科目の概要】

5学年の学年目標は「他者との協力で世界に関与できる生徒」です。

学年行事である修学旅行（研修）を通して様々なことを学びます。同時に、クラスメイトをはじめ多くの方々との関わりを通して視野を広げていきます。また、今年度より導入のキャリア教育「Ring」プログラムを通して、「課題を解決する力」のみでなく、これからの中学生社会に必要な、「課題を発見して、解決を図る力」を育成していきます。この他、日本語及び英語によるディベート学習を通して、社会問題への関心を深め、多面的なものの考え方を学び、自分の意見を的確に表現できる力の定着を目指します。4学年で学んだ「論理コミュニケーション」については応用編に取り組みます。

### 【育成をめざす学力】

- ・世の中（身近なところから社会全体における範囲）の課題を発見する力
- ・自己の研究課題の発見と情報を収集・分析できる力
- ・テーマに関する興味・関心と基本的な知識を身につける力
- ・レポート発表のためにプレゼンテーションする力
- ・根拠を明確にし、説得力のあるスピーチをする力
- ・研究活動に対して、自己評価や相互評価ができる力
- ・物事について筋道をたてて、論理的に考えることができる力

### 【評価基準・評価項目】

- ・テキストの質と適切さを見極め、情報源の出典を明示することができる。
- ・学習した結果、何を読み取れたのかを「自分の言葉」で表現することができる。
- ・研究課題に対して、的確な文章で表現し、プレゼンテーションができる。
- ・自らの経験や観察から根拠を明確にし、それに基づいた意見を述べることができる。

### 【年間指導单元・内容と学習活動】

#### 〔1学期〕

- ・論理コミュニケーション…授業、検定
- ・ディベート学習…導入、グループワーク
- ・進路学習…志望校選び、オープンキャンパス参加に向けて
- ・コラム学習

#### 〔2学期〕

- ・ディベート学習…グループワーク、クラス内試合
- ・論理コミュニケーション…授業、検定
- ・研修旅行…事前・事後学習
- ・進路学習…志望理由書（第一志望届）作成
- ・コラム学習

#### 〔3学期〕

- ・ディベート学習…英語でのディベート実践、英語ディベート大会（西南English Day）
- ・進路学習…受験準備
- ・小論文対策…講義、模試
- ・コラム学習

教科 科目	高大連携講座	学年	5年	単位	2単位	担当	5学年教師
----------	--------	----	----	----	-----	----	-------

【科目の概要】

高大連携講座は主に本校併設大学の教員との連携で、実際に大学教員による講義等を受けながら、大学における研究姿勢や研究意義を学ぶことによって進学意識を高める。また自主研究体験を通して大学での研究方法のスキルを学び高校での学びと大学進学後の学びをスムーズに連携させることを目的とした、本校独自の設定教科である。

【育成をめざす学力】

- ・大学で求められる研究姿勢を身につけ基本的な研究ができる力
- ・講義の概要をまとめる力
- ・自己の研究課題を発見し情報を収集し分析する力
- ・研究活動に対する自己評価・相互評価する力

【評価基準・評価項目】

- ・研究課題を見つけ調査研究し現状把握することができる。
- ・問題解決の方策を発見することができる。
- ・自分の考えを説得力ある表現で示すことができる。
- ・多くの情報を収集し、活用することができる。

【年間指導単元・内容と学習活動】

1 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オリエンテーション</li> <li>・テーマ学習（グループごとに設定したテーマの探究学習）</li> </ul> <p>現状分析・課題発見・改善 解決策の考察・意見文</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・西南女学院大学の講義の受講</li> </ul> <p>(事前研究　　講座受講　　レポート作成　　プレゼンテーション)</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマ学習（地域の課題解決に向けた探求学習）</li> </ul> <p>企業や専門家の講演を聞いて理解を深める</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・西南女学院大学の講義の受講</li> </ul> <p>(事前研究　　講座受講　　レポート作成　　プレゼンテーション)</p>
2 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマ学習（グループごとに設定したテーマの探究学習）</li> </ul> <p>現状分析・課題発見・改善 解決策の考察</p> <p>パワーポイントによる発表</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・志望理由書作成</li> </ul>
3 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマ学習（グループごとに設定したテーマの探究学習）</li> </ul> <p>現状分析・課題発見・改善 解決策の考察</p> <p>パワーポイントによる発表</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・志望理由書作成</li> </ul>

